

# LIFE&PEACE

## 第95回メーデー北海道集會に 1,400 人

第95回メーデー北海道集會は、好天に恵まれた5月1日に札幌市・中島公園「自由広場」で開催され1,400人が参加しました。集會は「LIFE&PEACE」（くらしと平和）をテーマに、三上友衛実行委員長（道労連議長）が「誰もが安心して暮らせる地域・社会をつくり、戦争のない平和な世界にするために団結してがんばろう」とあいさつしたあと、沖縄平和ツアーで交流した仲間たち、北海道パレスチナ医療奉仕団の猫塚義夫団長、北海道生活と健康を守る会連合会の細川久美子副会長、日本共産党の紙智子参議院議員がそれぞれスピーチしました。集會に参加できなかった組合員の分をふくめて要求を書き込んだハート型のカードを6枚の横断幕いっぱい貼り付け、それを先頭に大通りにむけてデモパレードをおこないました。なお、道内22か所でもメーデー集會がもたれました。

## 函館合同支部函館小型運送分会が賃上げ 5,000 円

函館合同支部函館小型運送分会は会社から基本給5,000円引き上げの回答（昨年基本給+2,000円と乗務手当+3,000円）を受け受諾しました。夏季一時金は0.5か月分+α（昨年は0.5か月分+25,000円）の回答で「+α」については今後の調整となります。

## 札幌地域支部北海定温分会は定昇別 6,000 円アップ

札幌地域支部北海定温分会は3月31日に、乗務員（再雇用含む、全ての車種別所職種別）を対象に4月から基本給に6,000円加算（定昇別）する協定書に調印しました。また、65歳以上のアルバイト雇用乗務員の時給も30円加算して支給されます。

殖産運輸支部（札幌）は賃上げについては「ゼロ回答」で、一時金は夏・冬の支給時に検討、燃料手当はゼロ回答です。昨年の回答後の交渉で質問し譲歩案の提示もしましたが、これらに対する回答もないままに「ゼロ回答」を繰り返しており、会社の対応について弁明を求めています。

## 北海道鉄道本部「第2回カレイ釣り交流会」

前日の強風から一転して風もおさまり天候に恵まれた5月4日、前回と同じく小樽港北運河から船を出し、祝津沖でのカレイ船釣り交流会をおこないました。波は多少のウネリが残っていましたが終盤となったカレイ釣りを参加者は楽しむことができました。優勝はベテラン釣り師の小樽支部・猪股さんが10.5kgを釣り上げ、準優勝に溪流釣りで鍛えた手返しの早さで追分支部・大内さん、三位には苫小牧支部・竹田さんが初めて魚釣りを体験した小学生のサポートをしながらカレイを釣り上げました。今年の祝津沖は40cmを超える大型は姿を見せませんでしたが平均して魚体は大きく、強いアタリと引きで十分に楽しませてくれました。同乗した小学生は目標の20枚を超える23枚を釣り上げて魚釣りの楽しさを経験して、次回も参加したいと笑顔で語ってくれました。ゴールデンウィーク明けからは噴火湾がシーズンを迎えます。準備支部の渡部さんから「多くの仲間が集まって楽しんでもらえるよう日程調整と船の手配をします」と連絡が届いており、大物の釣果に期待が寄せられています。